

C04 セメント；コンクリート；人造石；セラミックス；耐火物 [4]**注**

このクラスは他の分類，例えば機械的加工 B28, キルン F27 に分類される機械的特徴は包含しない。

C04B 石灰；マグネシア；スラグ；セメント；その組成物，例．モルタル，コンクリートまたは類似の建築材料；人造石；セラミックス（失透ガラスセラミックス C03C10/00）；耐火物（耐火性金属を基とする合金 C22C）；天然石の処理 [4]**注**

このサブクラスにおいて，下記の用語または表現は以下に示す意味で用いる：[6]

“充填材” は顔料，骨材および繊維強化材料を包含する。[6]

“活性成分” は処理加工助剤または性質改良剤，例．焼成工程後に使用されるかまたは焼成工程なしで使用される粉砕助剤，を包含する。[6]

“モルタル”，“コンクリート” および“人造石” は単一グルーブの材料として考えるべきであり，それゆえ，相反する指示がない限り，それらはモルタル，コンクリートおよびその他のセメント組成物を包含する。[6]

サブクラス内の索引

石灰，マグネシア；スラグ	2/00,5/00
セメント	7/00-12/00
モルタル；コンクリート；人造石	
組成物	26/00-32/00
充填材	14/00-20/00
活性成分	22/00,24/00
多孔質製品	38/00
モルタルの性質に影響を与えることまたはその変化	40/00
後処理	41/00
セラミック	
粘土製品	33/00
その他のセラミック	35/00
接合	37/00
多孔質製品	38/00
後処理	41/00
天然石の処理	41/00

石灰，マグネシア；スラグ

2/00	石灰，マグネシアまたはドロマイト [4]
2/02	・石灰 [4]
2/04	・消化 [4]
2/06	・物質，例．疎水化剤，の添加によるもの [4]
2/08	・その装置 [4]
2/10	・予熱，焼成，か焼または冷却（セメント原料の焼成期間中の脱炭酸 C04B7/43） [4]
2/12	・直立炉または堅形炉におけるもの [4]

5/00 溶融スラグの処理（スラグウールの製造 C03B；金属の製造中または製造用のスラグの処理 C21B,C22B）；溶融スラグから的人造石 [4]

A 溶融スラグからの熱回収

B 冷却前の処理；冷却方法

C 冷却後の処理

Z その他のもの

5/02 ・造粒（造粒装置 B01J2/00）；脱水；乾燥

A 水砕スラグの製造方法，処理方法（C04B5/02B 優先）

B ・スラリーからの水砕スラグの脱水または乾燥

Z その他のもの

5/06

・溶融スラグに添加された水以外の成分；ガスまたはガス発生材料による処理，例．多孔質スラグを得るためのもの [4]

セメント

グルーブ C04B7/00-C04B32/00 においては，ラストプレイス優先ルールが適用される，すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がない限り，最後の適切な箇所に分類する。[4]

7/00

水硬性セメント

7/02

・ポルトランドセメント

7/04

・石こうを含む原料を使用するもの

7/06

・アルカリ原料を使用するもの

7/12

・天然ボゾラン；天然ボゾランセメント [4]

7/13

・無機セメント質材料，例．ポルトランドセメント，との混合物 [4]

7/14

・スラグを含むセメント

7/147

・冶金スラグ [4]

7/153

・他の無機セメント質材料または他の活性化剤との混合物 [4]

7/17

・活性化剤を含有する酸化カルシウムとの [4]

7/19

・ポルトランドセメント [4]

7/21

・活性化剤を含有する硫酸カルシウムとの [4]

7/22

・鉄鉱セメント

7/24

・油頁岩，残留物またはスラグ以外の廃棄物から製造されたセメント [4]

7/26

・煙道ダストを含む原料からのもの

7/28

・燃料残留物からのもの（C04B7/26 が優先） [4]

7/30

・油頁岩からのもの；油頁岩残留物からのもの [4]

7/32

・アルミナセメント

7/34

・水硬性石灰セメント；ロマンセメント

7/345

・グルーブ C04B7/02-C04B7/34 の 1 つに属さない水硬性セメント [4]

7/36

・水硬性セメントの製造一般

7/38

・個々の，またはパッチとしての原料の調整または処理 [4]

7/40

・脱水；成形，例．造粒（造粒装置 B01J2/00）

7/42

・焼成工程の前またはその期間中に添加される活性成分

7/43

・熱処理，例．予備か焼，焼成，溶融；冷却 [4]

7/44

・焼成；溶融 [4]

7/44 101

・予熱；か焼

7/44 102

・仮焼用バッチを使用するもの

7/45

・流動床での [4]

7/46

・電気的なもの [4]

7/47

・冷却 [4]

7/48

・クリンカ処理（C04B7/47 が優先） [4]

7/51

・水和 [4]

7/52

・粉砕

7/60

・アルカリ金属またはその化合物の除去方法 [4]

9/00

マグネシウムセメントまたはそれに類似するセメント

9/02	・塩化物を含むマグネシウムセメント，例，ソ - レルセメント	14/12	・・・膨張した粘土 [4]
9/04	・硫酸塩，硝酸塩，りん酸塩またはふっ化物を含むマグネシウムセメント	14/14	・・・火山起原の鉱物 [4]
9/06	・マグネシウム化合物以外の金属化合物，例，亜鉛または鉛化合物，を含有するセメント	14/16	・・・多孔質のもの，例，軽石 [4]
9/11	・他の無機セメント質材料との混合物 [4]	14/18	・・・パ - ライト [4]
9/12	・・・水硬性セメント，例，ポルトランドセメント，との [4]	14/20	・・・雲母；ひる石 [4]
9/20	・製造，例，バッチの調整（石灰岩，マグネサイトまたはドロマイトの予熱，焼成，か焼または冷却 C04B2/10）	A	雲母
11/00	硫酸カルシウムセメント	Z	その他
11/02	・石こうの脱水	14/22	・・・ガラス [4]
11/024	・・・か焼工程の前またはその期間中に添加される成分，例，か焼変性剤 [4]	14/24	・・・多孔質のもの，例，発泡ガラス [4]
11/028	・・・その装置 [4]	14/26	・・・炭酸塩 [4]
11/032	・・・湿式法，例，溶液中でのまたは飽和蒸気条件下での脱水，のためのもの [4]	14/28	・・・カルシウムの [4]
11/036	・・・乾式法，例，流動床またはロ - タリ - キルン中での脱水，のためのもの [4]	14/30	・・・シリカ以外の酸化物 [4]
11/05	・無水石こうの取得（C04B11/028 が優先） [4]	14/32	・・・炭化物；窒化物；ほう化物 [4]
11/06	・硬石こうを出発物質とするもの	14/34	・・・金属 [4]
11/26	・りん酸石こうまたは廃棄物，例，煙の浄化生成物，を出発物質とするもの（C04B11/02 が優先） [4]	14/36	・・・グル - プ C04B14/02-C04B14/34 に属さない無機物 [4]
11/28	・他の無機セメント質材料との混合物（C04B7/04, C04B7/153 が優先） [4]	14/38	・繊維状材料；ウイスカ - [4]
11/30	・・・水硬性セメント，例，ポルトランドセメント，との [4]	A	炭素繊維
12/00	グル - プ C04B7/00-C04B11/00 に属さないセメント [4]	B	石こう繊維
12/02	・りん酸セメント [4]	C	ケイ酸塩繊維
12/04	・アルカリ金属またはけい酸アンモニウムセメント [4]	Z	その他
モルタル，コンクリート，または人造石のための充填材としての材料の使用		14/40	・・・石綿 [4]
14/00	モルタル，コンクリートまたは人造石のための充填材，例，顔料，としての無機物の使用；モルタル，コンクリートまたは人造石に対する無機物の充填性を向上させるのに特に適合する処理（建築材料用補強要素 E04C5/00） [4]	14/42	・・・ガラス [4]
14/02	・粒状材料 [4]	A	組成に特徴があるもの
A	着色材料	B	形状に特徴があるもの
B	軽量化したもの	C	・チョップドストランド型のもの
C	製造装置等	Z	その他
Z	その他	14/44	・・・アルカリ耐性を増加させるための処理 [4]
14/04	・・・けい素に富んだ材料；けい酸塩 [4]	A	無機物によるもの
A	軽量化したもの	B	有機物によるもの
C	非晶質シリカ	C	・樹脂によるもの
Z	その他	D	無機物 + 有機物によるもの
14/06	・・・石英；砂 [4]	Z	その他
A	水による処理	14/46	・・・岩綿 [4]
B	粉碎または研磨処理	14/48	・・・金属 [4]
Z	その他	A	材質に特徴があるもの
14/08	・・・けいそう土 [4]	B	被覆処理したもの
14/10	・・・粘土 [4]	C	形状に特徴があるもの
A	粘土の精製または変性	D	・寸法を特定したもの
B	複鎖構造型粘土	Z	その他
Z	その他	16/00	モルタル，コンクリートまたは人造石のための充填材，例，顔料，としての有機物の使用；モルタル，コンクリートまたは人造石に対する有機物の充填性を向上させるのに特に適合する処理（建築材料用補強要素 E04C5/00） [4]
		16/02	・セルロ - ス質材料 [4]
		A	セルロ - ス質材料 + 無機繊維
		Z	その他
		16/04	・高分子化合物（C04B16/02 が優先） [4]
		16/06	・・・繊維状の [4]
		A	繊維の材質に特徴があるもの
		B	・ポリビニルアルコ - ル系のもの
		C	被覆処理をしたもの
		D	繊維の形状に特徴があるもの
		E	・寸法を特定したもの
		F	・表面が凸凹のもの（C04B16/06C 優先）
		G	有機繊維 + 無機繊維
		Z	その他

16/08	・多孔質の，例．発泡ポリスチレンビーズ [4]	B 粒度分布に特徴があるもの
16/10	・・・モルタルとの混合性を高めるための処理 [4]	Z その他
16/12	・形状によって特徴づけられたもの（繊維状高分子化合物 C04B16/06；多孔質高分子化合物 C04B16/08）[4]	・処理 [4]
18/00	モルタル，コンクリート，または人造石のための充填材としての凝集物もしくは廃棄物または屑の使用；モルタル，コンクリート，または人造石に対する塊成化物質もしくは廃棄物または屑の充填性を向上させるのに特に適合する処理（建築材料用補強要素 E04C5/00）[4]	A 膨張処理；はく離処理
18/02	・塊成化物質 [4]	Z その他
18/04	・廃棄物；屑 [4]	20/04 ・・・熱処理 [4]
18/06	・・・燃焼残留物，例．煙，煙霧または排ガスの浄化生成物 [4]	20/06 ・・・膨張粘土，パライト，ひる石または類似の粒状材料 [4]
18/08	・・・煙道ダスト [4]	A 焼成炉または装置
	A 焼成するもの	Z その他
	B ・・・原料に特徴があるもの	20/08 ・・・石綿の解繊 [4]
	Z その他	20/10 ・・・被覆または含浸 [4]
18/10	・・・焼成屑 [4]	20/12 ・・・多層被覆または含浸 [4]
	A 石炭灰	活性成分としての材料の使用 [4]
	B モミガラ；木粉炭化物	(1) セメント組成物に硬化前に添加され，新規または改良された鉱物相を反応形成する活性成分は，他のセメントへの添加剤として用いられるセメントと同様にグループ C04B7/00-C04B12/00 に分類される。[4]
	Z その他	(2) グループ C04B22/00-C04B24/00 において，グループ C04B103/00 のインデキシングコードを付与することが望ましい。[6]
18/12	・・・採石場，鉱山または類似のものからのもの [4]	22/00 モルタル，コンクリートまたは人造石のための活性成分としての無機材料，例．硬化促進剤，の使用 [4]
18/14	・・・冶金学的工程からのもの（熔融スラグの処理 C04B5/00）[4]	22/02 ・・・元素 [4]
	A 高炉スラグ	22/04 ・・・金属，例．発泡剤として使用するアルミニウム [4]
	B ・・・急冷スラグ	22/06 ・・・酸化物；水酸化物 [4]
	C ・・・水砕スラグ	A けい素を含有するもの
	D ・・・膨脹スラグ	Z その他のもの
	E ・・・乾式法によるもの	22/08 ・・・酸またはその塩 [4]
	F 製鋼スラグ	A けい酸塩
	G 赤泥	B 陰イオン中に窒素を含有するもの
	H 高炉ダスト類	Z その他のもの
	J ・・・加熱軽量化するもの	22/10 ・・・陰イオン中に炭素を含有するもの，例．炭酸塩 [4]
	K ・・・ケイ酸アルカリを添加するもの	22/12 ・・・陰イオン中にハロゲンを含有するもの，例．塩化カルシウム [4]
	Z その他	22/14 ・・・陰イオン中に硫黄を含有するもの，例．硫化物 [4]
18/16	・・・建築またはセラミック工業からのもの [4]	A 無機硫酸塩
18/18	・・・有機的なもの（C04B18/10 が優先）[4]	B ・・・硫酸カルシウム
18/20	・・・高分子化合物からのもの [4]	C ・・・カルシウム〔ハロ〕アルミネート含有するもの
18/22	・・・ゴム [4]	D ・・・カルシウムサルホアルミネート
18/24	・・・植物屑，例．もみがら，トウモロコシ屑；セルロース質材料，例．紙 [4]	E ・・・カルシウムサルホアルミネートの合成
	A パルプスラッジ	Z その他のもの
	Z その他	22/16 ・・・陰イオン中にリンを含有するもの，例．りん酸塩 [4]
18/26	・・・木材，例．鋸屑，かんな屑 [4]	A 他の活性成分を併用するもの
18/28	・・・鉱物化；そのための組成物 [4]	Z その他のもの
18/30	・・・混合廃棄物；組成不明の廃棄物，例．都市ごみ（C04B18/10 が優先）[4]	24/00 モルタル，コンクリートまたは人造石のための活性成分としての有機物，例．流動化剤，の使用 [4]
20/00	モルタル，コンクリート，または人造石のための充填材としての物質であって，グループ C04B14/00-C04B18/00 の 2 以上に属するとともに形状または粒度分布に特徴のあるものの使用；モルタル，コンクリートまたは人造石に対するグループ C04B14/00-C04B18/00 の 2 以上に属する物質の充てん性を向上させるのに特に適合する処理；物質の膨張または解繊（建築材料用補強要素 E04C5/00）[4]	24/02 ・・・アルコール；フェノール；エテル [4]
	A 形状に特徴があるもの	24/04 ・・・カルボン酸；その塩，無水物またはエステル [4]
		24/06 ・・・水酸基を含有するもの [4]
		A 他の活性成分を併用するもの
		Z その他のもの

24/08	・脂肪；脂肪油；エステル型ろう；高級脂肪酸，すなわち 1 個のカルボキシル基に結合する中断しない鎖結合中に少なくとも 7 個の炭素原子を有するもの；酸化された油または脂肪 [4]
24/10	・炭水化物またはその誘導体 [4]
24/12	・窒素含有化合物 [4]
A	他の活性成分を併用するもの
Z	その他のもの
24/14	・ペプチド；蛋白質；これらの誘導体 [4]
24/16	・いおう含有化合物 [4]
24/18	・リグニンスルホン酸またはその誘導体，例，亜硫酸法パルプ廃液 [4]
A	他の活性成分を併用するもの
B	・他の有機活性成分を併用するもの
Z	その他のもの
24/20	・スルホン化された芳香族化合物 [4]
24/22	・その縮合生成物 [4]
A	他の活性成分を併用するもの
B	・他の有機活性成分を併用するもの
C	・他の高分子活性成分を併用するもの
D	・リグニンスルホン酸またはその誘導体を併用するもの
E	・炭素 - 炭素不飽和結合のみが関与する反応によって得られた高分子化合物を併用するもの
Z	その他のもの
24/24	・高分子化合物（C04B24/14 が優先；スルホン酸塩または硫酸エステルを含む高分子化合物 C04B24/16）[4,6]
A	他の活性成分を併用するもの
B	・他の有機活性成分を併用するもの
Z	その他のもの
24/26	・炭素 炭素不飽和結合のみが関与する反応によって得られたもの [4]
A	ビニル系重合体
B	・ポリビニルアルコ - ル
C	・酢酸ビニル系重合体
D	・アクリル系，メタクリル系重合体
E	・アクリル酸系，メタクリル酸系重合体
F	・アクリル酸エステル系，メタクリル酸エステル系重合体
G	・スチレン系重合体
H	不飽和脂肪族ジカルボン酸系重合体
Z	その他のもの
24/28	・炭素 炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応によって得られたもの [4]
A	ポリエポキシド
Z	その他のもの
24/30	・アルデヒドまたはケトンの縮合物 [4]
A	メラミンスルホン酸ホルムアルデヒド縮合物
B	・他の活性成分を併用するもの
C	・他の有機活性成分を併用するもの
D	・他の高分子活性成分を併用するもの

Z	その他のもの
24/32	・ポリエ - テル，例，アルキルフェノ - ルポリグリコ - ルエ - テル [4]
A	他の活性成分を併用するもの
Z	その他のもの
24/34	・天然樹脂，例，松脂 [4]
24/36	・瀝青物，例，タ - ル，ピッチ [4]
24/38	・多糖類またはその誘導体 [4]
A	セルロ - スまたはその誘導体
B	・他の活性成分を併用するもの
C	・他の有機活性成分を併用するもの
D	・他の高分子活性成分を併用するもの
Z	その他のもの
24/40	・けい素，チタンまたはジルコニウムを含有する化合物 [4]
24/42	・炭素 けい素間結合を 1 個以上有する化合物 [4]
A	他の活性成分を併用するもの
Z	その他のもの
モルタル，コンクリ - トまたは人造石のための組成物 [4]	

(1) ラストブレイスル - ルに従って C04B26/00-C04B32/00 に分類されるモルタル，コンクリ - トまたは人造石の組成物の構成成分であって，それ自体が新規かつ非自明であると判断されたものは，グル - プ C04B7/00-C04B24/00 の最後の適切な箇所に分類しなければならない。[4,8]

(2) モルタル，コンクリ - トまたは人造石の組成物の構成成分であって，ラストブレイスル - ルに従った C04B26/00-C04B32/00 への分類からは特定されず，かつ，検索に重要な情報であると思われるものは，グル - プ C04B7/00-C04B24/00 の最後の適切な箇所に分類することができる。これは，例えば分類記号の組合せを用いて組成物を検索できることが重要であると考えられる場合にあり得る。このような非義務的分類は，“付加情報”として表示すべきである。例えば，本質的なまたは特徴のある充填材としての粘土を含んだ，ポルトランドセメントモルタル混合物は，グル - プ C04B28/04 に分類し，グル - プ C04B14/10 にも付加的に分類することができる。[4,8]

(3) グル - プ C04B26/00-C04B32/00 においては，グル - プ C04B11/00 のインデキシングコ - ドを付加することが望ましい。[6]

26/00	有機結合剤のみを含有するモルタル，コンクリ - トまたは人造石の組成物 [4]
26/02	・高分子化合物 [4]
A	不燃化または難燃化したもの
B	着色または模様づけしたもの
C	製造方法
Z	その他
26/04	・炭素 炭素不飽和結合のみが関与する反応によって得られたもの [4]
A	ゴム
B	PVA; ポリ酢酸ビニル
C	ポリエチレン；ポリプロピレン
Z	その他
26/06	・アクリル酸エステル [4]
26/08	・ハロゲン含有するもの [4]
26/10	・炭素 炭素不飽和結合のみが関与する反応以外の反応によって得られたもの [4]
26/12	・アルデヒドまたはケトンの縮合物 [4]
26/14	・ポリエポキシド [4]
26/16	・ポリウレタン [4]

26/18	・・・ポリエステル；ポリカ - ボネ - ト [4]	B 防音材 Z その他	
A 結合剤に特徴があるもの B 添加物に特徴があるもの C ・有機物系添加物 D ・無機物系添加物 Z その他	32/02	・強化材を有するもの [4] A ガラス系強化材 B 炭素系強化材 C 金属系強化材 D ・防蝕 E 有機物系強化材 Z その他	
26/20	・・・ポリアミド [4]	セラミックス	
26/22	・・天然樹脂，例．松脂 [4]	33/00	粘土製品（モノリシックな耐火物または耐火モルタル C04B35/66；多孔質製品 C04B38/00） [2]
26/24	・・・セルロ - ス廃液，例．亜硫酸法パルプ廃液 [4]	33/02	・個々の，またはバッチとしての原料の調製または処理
26/26	・・瀝青物，例．タ - ル，ピッチ [4]	33/04	・・粘土；カオリン A 粘土鉱石の粉碎，分級 B 粘土の造粒 Z その他
A 樹脂を含むもの Z その他	・・多糖類またはその誘導体 [4] ・・炭素 金属または炭素 けい素間結合を 1 個以上有する化合物 [4] ・・けい素を含有するもの [4] 無機結合剤を含有するかまたは無機結合剤と有機結合剤との反応生成物を含有するモルタル，コンクリ - トまたは人造石の組成物，例．ポリカルボン酸セメント [4] ・・硫酸カルシウム以外の水硬性セメントを含有するもの [4] ・・ポルトランドセメント [4] ・・アルミナセメント [4] ・・スラグセメント [4] ・・石灰セメントまたは酸化マグネシウムセメント [4] ・・水硬性石灰 [4] ・硫酸カルシウムセメントを含有するもの [4] ・・無水石こうを含有するもの [4] ・シリカ - 石灰型の混合物を含有するもの [4] ・・砂 石灰 [4] ・・石灰およびボゾラン [4] ・けい酸アルキルアンモニウムまたはアルカリ金属のけい酸塩を含有するもの；シリカゾルを含有するもの [4] ・・アルカリ金属のけい酸塩 [4] ・多価の有機酸を含有するもの，例．ポリカルボン酸セメント [4] ・マグネシウムセメントを含有するもの（酸化マグネシウムセメント C04B28/10） [4] A 炭酸マグネシウムセメントを含有するもの Z その他のもの	33/06 石灰の無害化 33/08 ・・・白華防止 33/10 ・・鉄または石灰の除去 33/13 ・・配合成分（C04B33/36,C04B35/71 が優先） [2] A 無機物，例．鉱石粉 B ・ガラス粉 C ・金属粉 P 有機物，例．空隙形成用のもの Z その他	
26/28	28/00	33/132	・・・廃棄物；ゴミ（C04B33/16 が優先） [8]
26/30	28/02	33/135	・・・燃焼残渣，例．フライアッシュ，焼却ゴミ [8]
26/32	28/04	33/138	・・・冶金的方法からの廃棄物，例．鉱滓，炉塵，亜鉛メッキからのもの [8]
28/00	28/06	33/14	・・・着色物質
28/02	28/08	33/16	・・・非可塑性物質，例．焼粉，石英
28/04	28/10	33/18	・・・バッチを液状化するためのもの
28/06	28/12	33/20	・・乾式プレスのためのもの（C04B33/13 が優先）
28/08	28/14	33/22	・焼粉製品
28/10	28/16	33/24	・磁器または白色陶磁器の製造 A 異形物品の製造 Z その他
28/12	28/18	33/26	・・電気絶縁用磁器の
28/14	28/20	33/28	・でいしょう鑄込み成形
28/16	28/22	33/30	・乾燥方法 A 加熱 B ・熱風 C ・電気，光エネルギー - K 乾燥炉 L ・連続式 U 乾燥用受具 Z その他
28/18	28/24	33/32	・焼成方法 D 雰囲気組成 E ・還元雰囲気 F ・・燻し瓦の製造 K 焼成炉 L ・連続式 Q 炉内外の付属装置 R ・移送装置
28/20	28/26		
28/22	28/28		
28/24	28/30		
28/26	28/32		
28/28	28/34		
28/30	28/36		
A 炭酸マグネシウムセメントを含有するもの Z その他のもの	30/00		
28/32	このサブクラスの他のグル - プに属さない人造石（熔融スラグからの人造石 C04B5/00） [4] A 断熱材		
28/34	30/02		
28/36	32/00		

	S	・整列装置	35/105	・・・酸化クロムまたはクロム鉱石を含有するもの [6]
	T	・焼成用具	35/106	・・・酸化ジルコニウムまたはジルコン (ZrSiO ₄) を含有するもの [6]
	Z	その他	35/107	・・・熔融鑄造による耐火物 [6]
33/34		・・・施釉と結合されたもの	35/109	・・・酸化ジルコニウムまたはジルコン (ZrSiO ₄) を含有するもの [6]
33/36		・強化粘土製品 [2]	35/111	・・・ファインセラミックス [6]
35/00		組成に特徴を持つ成形セラミック製品；セラミック組成（炭化物，ダイヤモンド，酸化物，ほう化物，窒化物，けい化物に結合しているか，または他の金属化合物，例，酸窒化物もしくは硫化物，と結合している巨視的な強化材としての使用以外の遊離金属を含有するセラミック組成物，例，サ-メット C22C）；セラミック製品を製造するための無機化合物粉末の処理 [4]	35/111 500	・・・微小焼結体，例，焼結砥粒または小板状体のような成形された粒子（研磨材 C09K3/14）
(1)		このグループにおいては，相反する指示がない限り，組成物は最も高い重量比を有する構成成分に従って分類される。[3]	35/113	・・・ベ-タ酸化アルミニウムを基とするもの [6]
(2)		このグループにおいては，マグネシウムはアルカリ土類金属とみなす。[6]	35/115	・・・半透明または透明製品 [6]
(3)		このグループにおいては，複合組成物は焼結助剤以外の種々の粉末物質の焼結混合物とみなし，それらの物質は焼結製品において分離した相として存在する。[6]	35/117	・・・複合組成物 [6]
(4)		このグループにおいては，ファインセラミックスは多結晶の微粒子ミクロ構造，例，100 μm 以下の寸法の，をもつ製品とみなす。[6]	35/119	・・・酸化ジルコニウムをもつもの [6]
(5)		セラミック粉末の製造は，特定の特徴をもつ粉末の製造に関する限り，このグループに分類する。[6]	35/12	・・・酸化クロムを基とするもの（C04B35/047, C04B35/105 が優先） [6]
35/01		・酸化物を基とするもの [6]	35/14	・・・シリカを基とするもの [6]
35/01 300		・・・炭素を含有するもの（C04B35/103 が優先）	35/16	・・・粘土以外のけい酸塩を基とするもの [6]
35/01 600		・・・亜マンガ酸塩を基とするもの	35/18	・・・酸化アルミニウムに富むもの [6]
35/03		・・・酸化マグネシウム，酸化カルシウムまたはドロマイトから誘導した混合酸化物を基とするもの [6]	35/185	・・・ムライト [6]
35/035		・・・非酸化物耐火物質，例，炭素，を含有する粗粒サイズの混合物からの耐火物 [6]	35/19	・・・アルカリ金属アルミノけい酸塩，例，黝輝石（スボジュ-メン） [6]
35/04		・・・酸化マグネシウムを基とするもの [6]	35/195	・・・アルカリ土類金属アルミノけい酸塩，例，堇青石（コ-ジェライト） [6]
35/043		・・・粗粒サイズの混合物からの耐火物 [6]	35/20	・・・酸化マグネシウムに富むもの [6]
35/043 500		・・・酸化クロムまたはクロム鉱石以外の耐火性金属化合物を含有するもの	35/22	・・・酸化カルシウムに富むもの [6]
35/047		・・・酸化クロムまたはクロム鉱石を含有するもの [6]	35/26	・・・フェライトを基とするもの [2,6]
35/047 300		・・・熔融粒から得たもの	35/28	・・・主酸化物として酸化ニッケルをもつもの [2,6]
35/047 600		・・・予備反応させた焼結粒子から得たもの，例，同時焼結	35/30	・・・酸化亜鉛をもつもの [2,6]
35/05		・・・熔融鑄造による耐火物 [6]	35/32	・・・主酸化物として酸化コバルトをもつもの [2,6]
35/05 100		・・・酸化クロムまたはクロム鉱石を含有するもの	35/34	・・・酸化亜鉛をもつもの [2,6]
35/053		・・・ファインセラミックス [6]	35/36	・・・主酸化物として酸化マンガンを基とするもの [2,6]
35/057		・・・酸化カルシウムを基とするもの [6]	35/38	・・・酸化亜鉛をもつもの [2,6]
35/06		・・・ドロマイトから誘導した混合酸化物を基とするもの	35/40	・・・希土類酸化物をもつもの [2,6]
35/08		・・・酸化ベリリウムを基とするもの [6]	35/42	・・・亜クロム酸塩を基とするもの（C04B35/047, C04B35/105 が優先） [2,6]
35/10		・・・酸化アルミニウムを基とするもの [6]	35/44	・・・アルミン酸塩を基とするもの [2,6]
35/101		・・・粗粒サイズの混合物からの耐火物 [6]	35/443	・・・アルミン酸マグネシウムスピネル [6]
35/101 500		・・・C04B35/103-C04B35/106 に包含されるもの以外の耐火金属化合物を含有するもの	35/447	・・・リン酸塩を基とするもの [6]
35/103		・・・非酸化物耐火物質，例，炭素を含有するもの（C04B35/106 が優先） [6]	35/45	・・・酸化銅または酸化銅と他の酸化物の固溶体を基とするもの [6]
			35/45 040	・・・希土類酸化物を含有するもの
			35/45 120	・・・酸化タリウムを含有するもの
			35/45 170	・・・さらに酸化鉛も含有するもの
			35/45 210	・・・酸化ビスマス含有するもの
			35/45 250	・・・さらに酸化鉛も含有するもの
			35/453	・・・酸化亜鉛，酸化スズまたは酸化ビスマスまたはそれらと他の酸化物，例，亜鉛酸塩，スズ酸塩またはビスマス酸塩，の固溶体を基とするもの [6]
			35/457	・・・酸化スズまたはスズ酸塩を基とするもの [6]
			35/46	・・・酸化チタンまたはチタン酸塩を基とするもの（酸化ジルコニウムまたは酸化ハフニウム，ジルコニウム酸塩またはハフニウム酸塩を含むもの C04B35/49） [6]
			35/462	・・・チタン酸塩を基とするもの [6]

35/465	……アルカリ土類金属のチタン酸塩を基とするもの [6]	35/56 180	……チタンアルミニウムカ - バイドを基とするもの
35/468	……チタン酸バリウムを基とするもの [6]	35/56 220	……炭化ジルコニウムまたは炭化ハフニウムを基とするもの
35/468 200	……BaTiO ₃ ペロブスカイト相を基とするもの	35/56 260	……炭化タングステンを基とするもの
35/468 400	……鉛化合物を含有するもの (C04B35/472 が優先)	35/563	…炭化ほう素を基とするもの [6]
35/468 600	……BaTiO ₃ ペロブスカイト相以外の相を基とするもの	35/565	…炭化けい素を基とするもの [6]
35/468 800	……鉛化合物を含有するもの (C04B35/472 が優先)	35/567	……粗粒サイズの混合物からの耐火物 [6]
35/47	……チタン酸ストロンチウムを基とするもの [6]	35/569	……ファインセラミックス [6]
35/472	……チタン酸鉛を基とするもの [6]	35/571	……ポリマ - 前駆体から得たもの [6]
35/475	……チタン酸ビスマスに基とするもの [6]	35/573	……反応焼結により得たもの [6]
35/478	……チタン酸アルミニウムを基とするもの [6]	35/575	……加圧焼結により得たもの [6]
35/48	…酸化ジルコニウムまたは酸化ハフニウムまたはジルコニウム酸塩またはハフニウム酸塩を基とするもの [6]	35/575 500	……ガス圧焼結により得たもの
35/482	…粗粒サイズの混合物からの耐火物 [6]	35/576	……無加圧焼結により得たもの [6]
35/484	…溶融鑄造による耐火物 [6]	35/577	……複合組成物 [6]
35/486	…ファインセラミックス [6]	35/58	…ほう化物，窒化物またはけい化物を基とするもの [4,6]
35/488	…複合組成物 [6]	35/58 007	…耐火性金属窒化物を基とするもの
35/488 500	……酸化アルミニウムとの	35/58 014	……窒化チタンを基とするもの
35/49	…酸化チタンまたはチタン酸塩を含むもの [3,6]	35/58 021	……炭窒化チタンを基とするもの
35/491	…ジルコニウム酸鉛およびチタン酸鉛を基とするもの [6]	35/58 028	……窒化ジルコニウムまたは窒化ハフニウムを基とするもの
35/493	……他の鉛化合物も含むもの [6]	35/58 035	……炭窒化ジルコニウムまたは炭窒化ハフニウムを基とするもの
35/495	…酸化バナジウム，酸化ニオブ，酸化タンタル，酸化モリブデンまたは酸化タングステンまたはそれらと他の酸化物との固溶体，例，バナジウム酸塩，ニオブ酸塩，タンタル酸塩，モリブデン酸塩またはタングステン酸塩，を基とするもの [6]	35/58 042	…鉄族金属窒化物を基とするもの
35/497	…酸化鉛との固溶体を基とするもの [6]	35/58 050	…ほう化物を基とするもの
35/499	……チタン酸塩をもつもの [6]	35/58 057	……ほう化マグネシウムを基とするもの，例，MgB ₂
35/50	…希土類化合物を基とするもの	35/58 064	……ほう化耐火物を基とするもの
35/505	…酸化イットリウムを基とするもの [6]	35/58 071	……ほう化チタンを基とするもの
35/51	…アクチニド系化合物を基とするもの [2]	35/58 078	……ほう化ジルコニウムまたはほう化ハフニウムを基とするもの
35/515	…非酸化物を基とするもの (C04B35/50, C04B35/51 が優先) [6]	35/58 085	…けい化物を基とするもの
35/52	…炭素，例，黒鉛，を基とするもの [6]	35/58 092	……耐火金属けい化物を基とするもの
35/524	…ポリマ - 前駆体，例，ガラス状炭素質物質，から得たもの [6]	35/581	…窒化アルミニウムを基とするもの [6]
35/528	…他の非有機成分を有するまたは有しない炭素質粒子から得たもの [6]	35/582	……複合組成物 [6]
35/532	……炭化できる結合剤を含むもの [6]	35/583	…窒化ほう素を基とするもの [6]
35/536	…膨張黒鉛を基とするもの [6]	35/5831	……立方晶窒化ほう素を基とするもの [6]
35/547	…硫化物またはセレン化合物を基とするもの [6]	35/5833	……六方晶窒化ほう素を基とするもの [6]
35/553	…ふっ化物を基とするもの [6]	35/5835	……複合組成物 [6]
35/56	…炭化物を基とするもの [4]	35/584	…窒化けい素を基とするもの [6]
35/56 030	…明確に定義された酸素含有量，例，オキシカ - バイド	35/586	……粗粒サイズの混合物からの耐火物 [6]
35/56 070	…耐火性金属炭化物を基とするもの	35/587	……ファインセラミックス [6]
35/56 110	……炭化チタンを基とするもの	35/589	……ポリマ - 前駆体から得たもの [6]
35/56 150	……チタンシリコンカ - バイドを基とするもの	35/591	……反応焼結により得たもの [6]
		35/593	……加圧焼結により得たもの (C04B35/594 が優先) [6]
		35/593 500	……ガス圧焼結により得たもの
		35/594	……反応焼結製品の加圧または無加圧焼結により得たもの [6]
		35/596	……複合組成物 [6]
		35/597	…酸窒化けい素を基とするもの [6]
		35/599	……けい素アルミニウム酸窒化物 (サイアロン) を基とするもの [6]
		35/622	…製造方法；セラミック製品を製造するための無機化合物粉末の処理方法 [6]
		35/622 040	…廃棄物または塵芥を使うもの (廃棄物を含有する陶器 C04B33/132)

35/622 090	・・・セラミック製品の中に残っている木質材料を使用（多孔製品を取得するために燃焼 C04B38/06）	35/628 600	・・・炭化物
35/622 130	・・・米素材の使用，例，ふすままたは殻もしくははさや	35/628 630	・・・炭化けい素
35/624	・・・ゾル - ゲル法 [6]	35/628 650	・・・窒化物
35/626	・・・個々のまたは一括しての粉末の製造または処理 [6]	35/628 680	・・・窒化ほう素
35/626 050	・・・出発粉末を個別にまたは混合物として処理	35/628 710	・・・窒化けい素
35/626 100	・・・製粉	35/628 730	・・・炭素
35/626 150	・・・高エネルギー - または反応性ボ - ル製粉	35/628 760	・・・金属を用いて
35/626 200	・・・仮焼；焼結した原料，セラミックスの製粉	35/628 780	・・・ほう素またはけい素を用いて
35/626 250	・・・湿潤混合物	35/628 810	・・・金属塩，例，リン酸塩，を用いて
35/626 300	・・・その固形物重量により特徴付けられるもの，すなわち，固形体の割合	35/628 840	・・・気相技術による
35/626 350	・・・混合の詳細	35/628 860	・・・湿式化学技術による
35/626 400	・・・混合媒体，例，有機溶媒	35/628 890	・・・不連続被覆層を用いて
35/626 450	・・・粉体またはその混合物の焼結以外の熱処理	35/628 920	・・・粒子からなる被覆層を用いて
35/626 500	・・・還元または酸化に関連するもの	35/628 940	・・・2 以上の被覆層を用いて
35/626 550	・・・乾燥法，例，凍結乾燥，噴霧乾燥，高周波乾燥または超臨界乾燥	35/628 970	・・・厚さにより特徴付けられる被覆
35/626 600	・・・湿度を調節した乾燥	35/63	・・・特に製品の製造に適合する添加剤を用いるもの [6]
35/626 650	・・・フレ - ム，プラズマまたは熔融処理	35/63 030	・・・無機添加物
35/626 700	・・・熱分解，分解蒸留または自動燃焼反応	35/63 060	・・・リン酸またはリン酸塩を基とする結合剤
35/626 750	・・・処理温度により特徴付けられるもの	35/63 090	・・・リン酸アルミニウム
35/626 800	・・・加えられた圧力または大気の種類により特徴づけられるもの，例，真空内で，水素内でまたは特定の酸素圧の中で	35/63 130	・・・アルカリ金属リン酸塩またアルカリ土類金属リン酸塩
35/626 850	・・・成分または添加物を追加する順番により特徴付けられるもの	35/63 160	・・・シリコン化合物を基とする結合剤
35/626 900	・・・混合物の硬化	35/632	・・・有機添加剤 [6]
35/626 950	・・・粒状化または造粒	35/632 500	・・・有機金属化合物を基とするもの
35/628	・・・粉末を被覆するもの [6]	35/634	・・・ポリマ - （C04B35/636 が優先） [6]
35/628 020	・・・粉状被覆材料	35/634 040	・・・炭素 - 炭素不飽和結合のみを含む反応により得たもの
35/628 050	・・・酸化物セラミック	35/634 080	・・・ポリアルケン
35/628 070	・・・けい土またはけい酸塩	35/634 120	・・・クマロン重合体
35/628 100	・・・アルカリ土類金属酸化物	35/634 160	・・・ポリビニルアルコ - ル [PVA]；ポリビニルアセテ - ト
35/628 130	・・・アルミナまたはアルミン酸塩	35/634 200	・・・ポリビニルアセタ - ル，例，ポリビニルブチラ - ル [PVB]
35/628 150	・・・希土類金属酸化物	35/634 240	・・・ポリアクリレ - ト；ポリメタクリレ - ト
35/628 180	・・・耐火金属酸化物	35/634 280	・・・エチレン性不飽和ジカルボン酸無水物重合体，例，無水マレイン酸物共重合体
35/628 210	・・・酸化チタン	35/634 320	・・・ポリスチレン
35/628 230	・・・酸化ジルコニウムまたは酸化ハフニウム	35/634 360	・・・ハロゲン含有重合体，例，ポリ塩化ビニル
35/628 260	・・・鉄属金属酸化物	35/634 400	・・・少なくとも異なった三種のモノマ - を含有する共重合体
35/628 280	・・・非酸化物セラミック	35/634 440	・・・窒素を含有する重合体，例，ポリアクリルアミド，ポリアクリロニトリルまたはポリビニルピロリドン [PVP]
35/628 310	・・・炭化物	35/634 480	・・・炭素 - 炭素不飽和結合のみが関連する反応以外により得たもの
35/628 340	・・・炭化けい素	35/634 520	・・・ポリエポキシド
35/628 360	・・・窒化物	35/634 560	・・・ポリウレタン；ポリイソシアネ - ト
35/628 390	・・・炭素	35/634 600	・・・ポリエステル
35/628 420	・・・金属	35/634 640	・・・ポリカ - ボネ - ト
35/628 440	・・・被覆繊維	35/634 680	・・・ポリアミド
35/628 470	・・・酸化物セラミックを用いて	35/634 720	・・・アルデヒドまたはケトンの縮重合体
35/628 490	・・・けい土またはけい酸塩	35/634 760	・・・フェノ - ル - ホルムアルデヒド縮重合体
35/628 520	・・・アルミナまたはアルミン酸塩	35/634 800	・・・メラミン - ホルムアルデヒド縮重合体
35/628 550	・・・耐火金属酸化物		
35/628 570	・・・非酸化物セラミックを用いて		

35/634 840 尿素 - ホルムアルデヒド縮重合体
35/634 880 ポリエ - テル，例．アルキルフェノ - ルポリグリコ - ルエ - テル，ポリエチレングリコ - ル [PEG]，またはポリエチレンオキシド [PEO]
35/634 920 天然樹脂，例．ロジン
35/634 960 瀝青物，例．タ - ルまたはピッチ
35/636 多糖類またはその誘導体 [6]
35/636 500 セルロ - スまたはその誘導体
35/638 その除去 [6]
35/64	.. 焼成または焼結方法（C04B33/32 が優先）[6]
35/645	... 加圧焼結 [6]
35/645 500 熱間静水圧プレス
35/65	... 遊離金属または遊離けい素を含む組成物の反応焼結 [3]
35/65 100 テルミットタイプの焼結，例．燃焼焼結
35/65 200 指向的酸化または凝固，例．ランキサイド法
35/653	.. 溶融段階を伴う方法 [6]
35/657	... 耐火物製造用（C04B35/05, C04B35/107, C04B35/484 が優先）[6]
35/66	・モノリシックな耐火物または耐火モルタルであって，粘土を含み，または含まぬもの
35/66 に分類される，水硬セメント，例．アルミナセメント，を含んだ耐火モルタル組成物の構成成分であって，検索に重要な情報であると思われるものは，グル - プ 7/00 から 24/00 において最後の適切な箇所に分類することができる。これは，例えば分類記号の組合わせを用いて組成物を検索できることが重要であると考えられる場合にあり得る。こうした非義務的分類は，“付加情報”として表示すべきである。例えば，こうした 24/00 への付加分類は，モルタル組成物に添加された有機凝固遅延剤に対し行うことができる。[8]	
35/71	・巨視的な強化用物質を含むセラミック製品（C04B35/66 が優先）[3,4]
35/74	.. 成形された金属材料を含むもの [2]
35/76	... 繊維，フィラメント，ウスカ - ，小板状体または類似物 [2]
35/78	.. 非金属材料を含有するもの [2]
35/80	... 繊維，フィラメント，ウスカ - ，小板状体または類似物 [2]
35/80 300 酸化物のみからなるセラミック製品のマトリックス
35/80 600 非酸化物のみからなるセラミック製品のマトリックス
35/81 ウスカ - [6]
35/82 アスベスト；ガラス；溶融シリカ [2]
35/83 炭素基質の炭素繊維 [6]
このグル - プに包含される製品は通常“炭素 - 炭素コンポジット”と呼ばれる。[6]	
35/84	... 含浸されたまたは被覆された材料 [2]
37/00	焼成セラミック物品と他の焼成セラミック物品または他の物品との加熱による接合
A	接合剤の組成に特徴を有するもの
B	・金属を含むもの
C	直接融着によるもの
Z	その他のもの
37/02	・金属物品との
A	接合剤の組成に特徴を有するもの

B	・金属を含むもの
C	直接融着によるもの
Z	その他のもの
37/04	・ガラスから作られた物品との
38/00	多孔質化モルタル，コンクリート，人造石又はセラミックス製品；その製造（ガスまたはガス生成物質によるスラグの処理 C04B5/06）[4,6]
38/00 301	・多孔質人造石
A	形状または構造に特徴があるもの
B	発泡性鉱物を原料とするもの
C	無機繊維板
D	有機繊維板
Z	その他
38/00 302	・多孔質人造石の製造
A	吸着ガスの放出，液体の蒸発または固体の昇華による多孔化
B	発泡合成樹脂ビ - ズを溶融あるいは収縮させるもの
C	骨材間に空隙を形成するもの，スポンジ等に含ま浸させるもの
D	炭酸ガスで硬化するもの
E	防水処理
Z	その他
38/00 303	・多孔質セラミック製品
A	セラミック繊維板
Z	その他
38/00 304	・多孔質セラミック製品の製造
A	網状フォ - ムに泥漿を付着させるもの
B	吸着ガスの放出または液体の蒸発によるもの
Z	その他
成分または組成物に特徴のある多孔質のモルタル，コンクリート，人造石またはセラミック製品はグル - プ 2/00 から 35/00 にも分類する。[4]	
38/02	・化学的発泡剤の添加によるもの [4]
A	多孔質人造石
B	・化学的発泡剤 + 樹脂
C	・水ガラス
D	・炭酸塩等
E	・金属粉末
F	.. 金属粉末 + 樹脂
G	・過酸化物
H	・有機物
J	.. イソシアナ - ト系
K	セラミック製品
L	・水ガラス
M	・炭酸塩等
N	・金属粉末
P	・炭素
Z	その他
38/04	・添加物質の溶出によるもの [4]
A	多孔質人造石
B	セラミック製品
Z	その他
38/06	・添加物質の焼失によるもの [4]
A	多孔質人造石
B	セラミック製品
C	・粘土
D	・酸化物
E	・窒化物，ほう化物，炭化物またはケイ化物

	F	・炭素	41/60	・人造石のみの [4]
	G	・焼成前の処理に特徴があるもの	41/61	・・被覆または含浸 [4]
	H	・発泡剤の使用	41/62	・・・有機物によるもの [4]
	J	・焼成前の成型に特徴があるもの	41/63	・・・高分子化合物 [4]
	Z	その他	41/64	・・・炭素 金属または炭素 けい素間結合を 1 個以上有する化合物 [4]
38/08		・多孔質物質の添加によるもの [4]		・・・無機物によるもの [4]
	A	多孔質人造石	41/65	・・・ふっ化物，例，オクラテ - ション [4]
	B	・無機多孔質	41/66	
	C	・有機多孔質		・・・りん酸塩 [4]
	D	セラミック製品	41/67	・・・けい酸；けい酸塩 [4]
	Z	その他	41/68	・・・金属 [4]
38/10		・起泡剤の使用によるもの（C04B38/02 が優先） [4]	41/69	・・・異なった組成を有する少なくとも 2 つの積層された被覆を得るためのもの [4]
	A	多孔質人造石	41/70	・・・被覆の少なくとも 1 つは有機物であるもの [4]
	B	・起泡剤 + 泡安定剤	41/71	・・処理した物品からの材料の一部の除去を含むもの，例，エッチング [4]
	C	・起泡剤 + 水ガラス	41/72	・セラミックスのみの [4]
	D	・起泡剤 + 多孔質		A 加熱処理；表面溶融
	E	・起泡剤 + 補強繊維		B 拡散浸透；イオン注入処理
	F	・起泡剤 + 樹脂	41/80	Z その他
	G	・起泡装置または方法		・・被覆または含浸 [4]
	H	・・攪拌によるもの	41/81	A 含浸方法または装置
	J	・・吹き込みによるもの		Z その他
	K	・・減圧によるもの		・・・有機物によるもの [4]
	L	セラミック製品	41/82	A 被覆
	Z	その他		B 含浸
40/00		モルタル組成物，コンクリート組成物または人造石組成物の性質，例，凝結もしくは硬化性，に影響を与えるかそれを変化させるためのプロセス一般（活性成分の選択によるもの C04B22/00-C04B24/00；明確に規定された組成物の硬化 C04B26/00-C04B28/00；多孔質，細胞状または軽量化するもの C04B38/00） [4,6]		C ・炭素材への含浸
				D ・耐火物への含浸
40/02		・硬化環境の選択 [4]	41/83	Z その他
40/04		・混合水の蒸発防止（永久的な被覆 C04B41/00） [4]		・・・高分子化合物 [4]
40/06		・凝結抑制，例，破壊可能容器中に水を含む遅硬化型モルタル [4]		A 被覆
41/00		モルタル，コンクリート，人造石またはセラミックスの後処理；天然石の処理（冷間うわ薬以外のうわ薬 C03C8/00） [3]		B ・焼成タイル表面の被覆
				C ・耐火物表面の被覆
				D 含浸
				E ・炭素材への含浸
				F ・耐火物への含浸
				G ・非酸化物焼結体への含浸
				Z その他
(1) このグループにおいて，下記の用語または表現は以下に示す意味で用いる：[6]			41/84	・・・炭素 金属または炭素 けい素間結合を 1 個以上有する化合物 [4]
“モルタル”，“コンクリート”および“人造石”は最初の成形後の材料を包含する。[6]				A 被覆
(2) ある材料をこれと同じ材料で処理することまたは後でこれと同じ材料に変化する物質で処理すること，例，被覆または含浸，はこのグループでいう後処理とは考えないで，材料の調製として分類する，例，炭化可能な物質によって含浸された炭素体は 35/52 に分類する。				B 含浸
(3) グループ C04B41/45-C04B41/80 においては，ラストプレース優先ルールが適用される，すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がない限り，最後の適切な箇所に分類する。[4]			41/85	Z その他
				・・・無機物によるもの [4]
41/45		・被覆または含浸 [4]		A 焼結体への無機物含浸処理
41/46		・・有機物によるもの [4]		B ・含浸後さらに後処理するもの
41/47		・・・油，脂肪またはろう [4]		C 多孔質焼結体への無機物被覆・含浸処理
41/48		・・・高分子化合物 [4]		D ・触媒担体
41/49		・・・炭素 金属または炭素 けい素間結合を 1 個以上有する化合物 [4]		E ・耐火物への無機物含浸処理
41/50		・・・無機物によるもの [4]		F ・炭素物への無機物含浸処理
41/51		・・・金属化 [4]		G ・炭素質電極または耐火物
41/52		・・多段被覆または含浸 [4]		H 非酸化物焼結体への無機物含浸処理
41/53		・処理した物品からの材料の一部の除去を含む [4]		J 陶磁器の無機物被覆による模様付け
				Z その他
			41/86	・・・うわ薬；冷間うわ薬 [4]
				A 釉薬
				B ・顔料に特徴があるもの

	C	施釉紙	M	絶縁基板表面の金属化
	D	施釉方法	N	・スル - ホ - ルを有するもの
	E	施釉前処理法	P	・パタ - ン形成手段に特徴があるもの
	F	施釉後処理法	Q	非酸化物焼結体表面の金属被覆
	G	転写による絵付法	R	炭素またはダイヤモンド表面の金属被覆
	H	・転写紙	S	多孔質焼結体表面の金属被覆
	J	釉薬層の固着方法または装置	T	耐火物表面の金属被覆
	K	施釉装置または補助具	U	焼結体への金属含浸
	L	・吹付または撒布によるもの	V	・炭素材への金属含浸
	M	・浸漬によるもの	Z	その他
	N	・塗布，スタンプ，印刷または口 - ル掛けによるもの	41/89	・・・異なった組成を有する少なくとも 2 つの積層された被覆を得るためのもの [4]
	P	・釉薬不要部分の除去装置	A	多層被覆方法
	Q	・瓦への施釉装置	B	有機物による多層被覆
	R	施釉製品	C	陶磁器表面に粉末，粒状物，繊維状物を樹脂，ガラス，その他で固着したもの
	S	耐火物または炭素材表面のガラス質被覆	D	陶磁器表面の装飾のための多層被覆
	T	電気材料表面のガラス質被覆	E	・下絵付後施釉
	U	・グレ - ズド基板	F	・釉が透明または半透明なもの
41/87	Z	その他	G	・下絵付後樹脂被覆
	・・・セラミックス [4]		H	・施釉後上絵付
	A	焼結体表面の無機物被覆方法	J	多層被覆した硬質材料，例．工具
	B	・絶縁基板表面の無機物被覆	K	多層被覆した炭素材，炭化珪素材及び耐火物
	C	・焼結体表面の導電性無機物被覆	Z	その他
	D	焼結体表面での酸化物以外の無機質被膜形成法	41/90	・・・被覆の少なくとも 1 つは金属であるもの [4]
	E	蒸熱による無機物被覆	A	焼結体表面の多層金属被覆
	F	・PVD によるもの	B	焼結体表面に金属被膜形成後無機物被覆
	G	・CVD によるもの	C	焼結体表面に無機質被膜形成後金属被覆
	H	熱分解炭素またはダイヤモンドによる被覆	D	金属被覆層を有する装飾陶磁器
	J	溶射による無機物被覆	Z	その他
	K	・溶射材料	41/91	・・・処理した物品からの材料の一部の除去を含むもの，例．エッチング [4]
	L	赤外線放射材料による被覆	A	電解エッチング
	M	非酸化物焼結体表面の無機物被覆処理	B	化学エッチング
	N	硬質材料，例．工具材，の無機物被覆	C	エッチングの際のマスキング
	P	耐火物表面の無機物被覆処理	D	サンドブラストによる除去
	Q	・酸化防止のための処理	E	レ - ザ - ・プラズマジェットによる除去
	R	・無機質被覆材	Z	その他
	S	炭素材表面の無機物被覆処理		活性成分の機能または特性に関し，グル - プ 22/00 および 24/00 と関連するインデキシング系列 [6]
	T	・炭素質耐火物または電極表面の被覆処理	103:00	活性成分の機能または特性 [6]
	U	・無機質被覆材	103:10	・促進剤 [6]
	V	・SiC 被覆	103:12	・・・凝結促進剤 [6]
	W	装飾のための無機物被覆	103:14	・・・硬化促進剤 [6]
41/88	Z	その他	103:20	・遅延剤 [6]
	・・・金属 [4]		103:22	・・・凝結遅延剤 [6]
	A	金属被覆焼結体	103:24	・・・硬化遅延剤 [6]
	B	焼結体のメタライズ用組成物	103:30	・減水剤，流動化剤，AE 剤 [6]
	C	・導電層形成のためのもの	103:32	・・・高性能流動化剤（高性能減水剤） [6]
	D	・装飾のためのもの	103:40	・界面活性剤；分散剤 [6]
	E	焼結体表面の電気メッキ	103:42	・孔形成剤 [6]
	F	焼結体表面の無電解メッキ	103:44	・濃度増加剤，ゲル増加剤または粘度増加剤 [6]
	G	・無電解メッキのための前処理		
	H	・・・活性化剤		
	J	焼結体表面の蒸着による金属被覆		
	K	焼結体表面の溶射による金属被覆		
	L	焼結体表面の還元メタライズ法		

- 103:46 ・水損失減少剤 , 吸湿剤または親水化剤 [6]
- 103:48 ・泡安定剤 [6]
- 103:50 ・消泡剤 ; 脱泡剤 [6]
- 103:52 ・粉碎助剤 [6]
- 103:54 ・顔料 ; 染料 [6]
- 103:56 ・乳濁剤 [6]
- 103:60 ・化学的 , 物理的または生物学的破壊作用に対する保護剤 [6]
- 103:61 ・・防錆剤 [6]
- 103:63 ・・防炎剤 [6]
- 103:65 ・・防水剤または撥水剤 [6]
- 103:67 ・・殺生物剤 [6]
- 103:69 ・・・殺菌剤 [6]
- モルタル , コンクリ - トまたは人造石の機能 , 特性または使用に関し , グル - プ 26/00-32/00 と関連したインデキシング系列 [6]
- 111:00 モルタル , コンクリ - トまたは人造石の機能 , 特性または使用 [6]
- 111:10 ・特定の物質が含まれていないことに特徴のある組成物 [6]
- 111:12 ・・アスベストの不在 , 例 . セメント - アスベスト代用物 [6]
- 111:20 ・化学的 , 物理的または生物学的破壊作用の阻止 [6]
- 111:21 ・・耐エフロレッセンス [6]
- 111:22 ・・耐中性化 [6]
- 111:23 ・・耐酸 [6]
- 111:24 ・・耐海水 [6]
- 111:25 ・・耐落書き [6]
- 111:26 ・・補強性腐食 [6]
- 111:27 ・・耐水 ; すなわち , 防水または撥水材料 [6]
- 111:28 ・・耐火 [6]
- 111:30 ・釘付け可能な , またはのこぎりでひける材料 [6]
- 111:32 ・膨張禁止材料 [6]
- 111:34 ・防縮材料 [6]
- 111:40 ・多孔性または軽量の材料 [6]
- 111:42 ・・浮上材料 [6]
- 111:50 ・柔軟性または伸縮性材料 [6]
- 111:52 ・防音材料 [6]
- 111:54 ・自然石の代用品 , 例 . 人造大理石 [6]
- 111:56 ・管の構成に適した組成物 , 例 . 遠心鑄造によるもの [6]
- 111:60 ・床材料 [6]
- 111:62 ・・セルフレベルリング組成物 [6]
- 111:70 ・グラウト [6]
- 111:72 ・既存の建築物または建築材料の修理に用いられる組成物 [6]
- 111:74 ・水中における適用 [6]
- 111:76 ・氷点下温度における使用 [6]
- 111:80 ・光学的特性 , 例 . 透明 [6]
- 111:82 ・・着色した材料 [6]
- 111:90 ・電気的特性 [6]
- 111:92 ・・電気絶縁材料 [6]
- 111:94 ・・導電材料 [6]